

令和4年度「せたがや会議～みんなで考える多文化共生のまち～」

(外国人・日本人区民による意見交換会)

実施報告

1. 目的

国籍を問わず誰もが暮らしやすい多文化共生社会の構築に向けて、区民同士で日頃から感じていることを意見交換し合うことで、課題や情報を共有し、問題についての認識を深めるとともに、参加者同士の交流機会創出を目的とする。

2. 開催日時

令和5年2月12日（日）午前10時～正午

3. 開催場所

日本大学文理学部百周年記念館（1F多目的ホール）（世田谷区桜上水3-25-40）

4. テーマ

「世田谷区の外国人向け情報発信について」

世田谷区の外国人向け情報発信の「今」についてどう思いますか？

より幅広く情報を届けるために、どのような工夫が有効だと思いますか？

5. 参加者数

計48名

(1) 外国人区民30名

※公募のほか、住民基本台帳より無作為に抽出した1,000名を対象に多言語版の案内を送付し、参加者を募集。

(2) 日本人区民18名 ※公募による

6. 全体コーディネーター及び協力者

(1) 講師：吉田 千春 氏（中央大学法学部助教／イクリスせたがや代表）

：ゴロウィナ クセーニヤ 氏（東洋大学社会学部准教授／イクリスせたがや代表）

(2) グループファシリテーター：大学生及び大学院生による学生ボランティア16名

（中央大学、東海大学、東京大学、東洋大学、明治大学、早稲田大学）

(3) 通訳：東京都防災（語学）ボランティア7名（英語6名、中国語1名）

※通訳希望のあった参加者のいるグループのみ配置

7. 「せたがや会議」の流れ

時間	内容
10:00～	開会、講師の紹介など
10:10～	(10グループに分かれての活動) (前半) アイスブレイク (自己紹介、参加者同士の交流) (後半) 意見交換 「世田谷区の外国人向け情報発信について」考える
11:30～	意見交換の共有、まとめ
12:00	閉会

当日の活動の様子



自己紹介



アイスブレイク



各グループでの意見交換



出た意見を模造紙にまとめました

8. グループワークで出た意見（抜粋）

テーマ：「世田谷区の外国人向け情報発信について」

区の情報発信の現状について、また、今後どのような工夫ができるかを皆さんに話し合っていました。

【グループA】

- ・Website translation is difficult to understand! Improve website translation.
- ・区のウェブサイトの情報のまとめ方が分かりにくい。
- ・外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」をもっと見やすく！
- ・初めて世田谷区に住む人向けの講座などを世田谷区に設置するか、SNS、せたがや国際交流センターについてのパンフレットを配る。大きくて分厚い本は使いにくい。
- ・Setagaya Intercultural Center, and SNS, FM Radio, I don't even know these exist.
- ・検索エンジンで調べたときにヒットしやすくなるよう、ページタイトルも外国語表示を入れる。

【グループB】

- ・HPが複雑。PDFで載せているので、検索してもうまくヒットしない。
- ・外国語で相談できるのが窓口、電話しかない。メールやチャットでも相談したい。
- ・せたがや国際交流センターからの情報が古い。
- ・やさしい日本語がわかりにくい。翻訳にかけるなら、普通の日本語のほうがよい。
- ・区が一方的に頑張って情報発信するのではなく、双方向的に外国人から質問できるシステムを作る。
- ・長く住む人、短く住む人で必要な情報は違う。
- ・同じ出身国の人たちで集まれるコミュニティがあるといい。→区にも意見が言いやすい。

【グループC】

- ・ツールはあるけど認知度が低い。
- ・自ら情報を取りに行かないといけない。一方、何年も住んでいると情報がなくても困らない。
- ・出身国によって、よく利用するツール（SNS）が異なるので、それにあわせて情報発信する。
- ・（漢字が読める人にとっては）漢字での表記が便利。
- ・些細なことを相談・交流できるチャットシステム。
- ・日本語ができない人にとっては、写真や動画を中心に伝えた方がよい（文字だけ×）。

【グループD】

- ・情報を得るのが難しい。
- ・子どもがいる人だけではないので、どちらにも向けた情報発信を。
- ・情報交換グループを作る。One person in charge per one month. Buddy Volunteer system?
- ・何かあったら、言いにいけるところがほしい。メールは情報をシェアしやすい。
- ・公園を活用したイベント。

【グループ E】

- ・情報が少ない、もっと知りたい。イベントが少ないし、NEWS が少ない。
- ・区のおしらせ「せたがや」を外国人家庭に配布する（英語で）。
- ・Simple website(in English and main information)
- ・区だけでなく、地域内の企業にも情報発信してもらう。
- ・学校や会社をお願いしてボトムアップで外国人家族に伝える。

【グループ F】

- ・情報にはたどり着けるが、その先の実際の手続きが複雑で難しい。
- ・ワンストップサービスがあれば助かる。
- ・HP とアプリの両立。
- ・Email Newsletter
- ・情報が一つのページから全部まとめてわかるとわかりやすい。

【グループ G】

- ・情報の置いてある場所がわからない。
- ・キャッチフレーズを考える。「〇〇の町」という形でもっと知らせる。
- ・SNS を使う (Youtube)。
- ・イベントを大々的にする。
- ・文化交流の情報が目に付くようにする。

【グループ H】

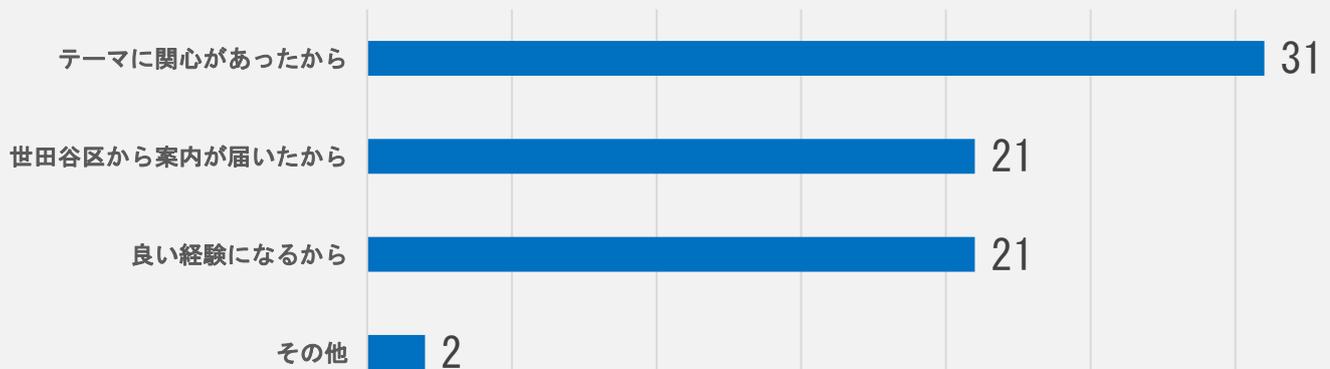
- ・部屋探しの際のサポート
- ・コミュニティの場所がどこにあるか知りたい。
- ・子どもの学校探し（進路）が難しい。知識と言葉の壁。
- ・必要なコミュニティを区が把握して紹介する。
- ・Every information should have translated pages both English and Japanese.

【グループ I】

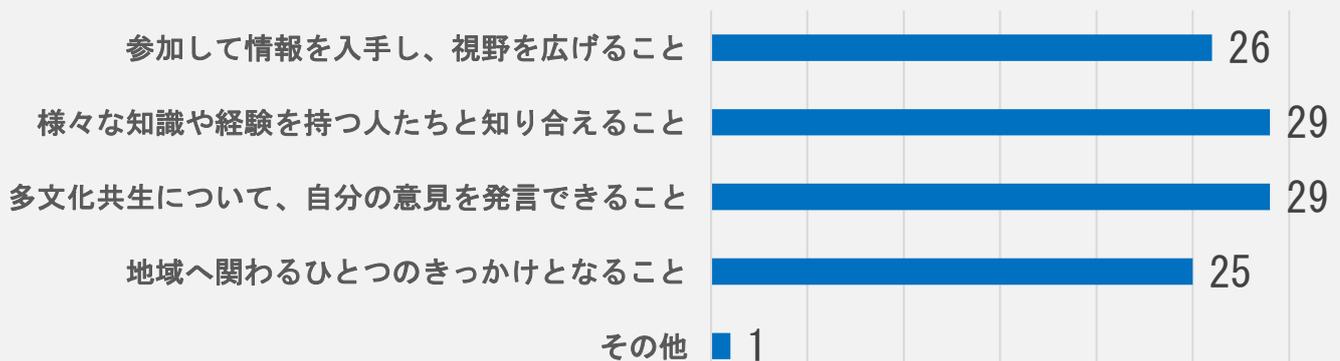
- ・世田谷区役所は情報をくれる but 実際に行くのはハードルが高い。
- ・紙の手紙よりも Email。
- ・英語よりも Simple Japanese を進めていくべき。そもそも、やさしい日本語を理解している人が少ない。
- ・多言語対応（10 年前よりは英語表記が多くなってきている！）
- ・外国人の方と大学生がコミュニケーションをとれる場を作る。
- ・英語版の新聞を作る。

9. 参加者アンケート集計（回答者：47名／48名）

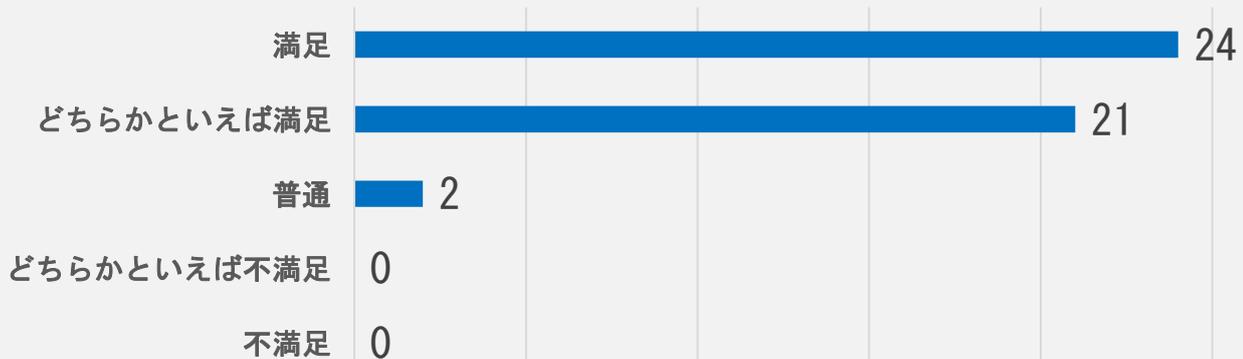
「せたがや会議」への参加を決めた理由は何ですか（複数回答可）



「せたがや会議」にどんなことを期待していましたか（複数回答可）



「せたがや会議」の全体的な満足度はいかがでしたか



【その他、ご意見・感想等（抜粋）】

- ・区に在住する外国人の意見が直接きけた。
- ・これからの Follow Up が大事です。
- ・グループで意見が多く、もう少し時間があればいいと思いました。
- ・1回の単発開催ではなく、同じメンバーで複数回開催すれば、もっと具体的な案が出たり、理解が深まるのでは。
- ・グループセッションでは色々話し合いができたが、もっと全体的な方法があると◎。
- ・次回に人数が増えることができれば良いです。頻度が高くなれば良いと思います。
- ・世田谷区に長く住んで、進歩を感じました。時代にあわせて、もっと住みやすいまちになるのを望みます。
- ・もっと情報発信があつたら、良いかも！
- ・Please hold more events like this.
- ・せたがや会議のようなイベントやボランティア活動にもっと参加したいですが、そのような情報は簡単に分かるようになってほしいです。
- ・Thank you for organizing this event.